

元気通信

GENKI-TSUSHIN



浅利久美子さん

「人生 80 年、最初の 20 年は育ててもらった、次の 20 年は子供を育てた、あとの 40 年は自分のものだ」とはいうものの、子供が大学生と専門学校生だから仕送りやらで、もうひとがんばりしなきゃ、という浅利さん。

原稿の折りかたは商工会の先輩から教わり、紙風船はみんなの手づくり。

「とにかくいつも動いている」そんな表現がびっぴりたるの、西木町松木内の浅利久美子さん（47 歳）。24 歳で嫁いだから、夫と共に家業の酒屋を切り盛りしています。大型店での買い物が主流になったこの時代、浅利さんはチャレンジ精神で山間部にあるこの商店を守ってきました。インターネットを使った地酒や山菜の販売などに十数年前から先駆的に挑み、全国に顧客をもちます。

地域活動にも熱心に参加。田沢湖・角館・西木の商工会が合併し、6 年前に生まれた仙北市商工会。浅利さんはこの婦人部の一員として、観光や祭りのイベントに出品したり事業の情報交換をしたりと、活動を重ねてきました。

そんな浅利さんが、6 月 10 日の全県商工会婦人部主張発表大会で、聴衆に圧倒される元気あふれる弁論で、見事優勝しました。7 月 8 日の北海道・東北大でも優勝。「この快挙の原動力は仲間の力、私はたまたま読む係」と浅利さんは言います。

仙北市商工会がこの大会へ出場することになったとき、誰がどんな内容の話をしようかと仲間です話し合いました。

「紙風船しられれば、仙北市広がるから、くー（浅利さんの呼称）やれ。オメおはぎ 3 コ食べだべ？ んだがらオメ読め」。

親しい仲間ならではのそんな会話から、発表のテーマは「女性部活動に参加して〜西木の夜を彩る笑顔と感動の紙風船〜」に決まり、浅利さんが弁士をつとめることになりました。

発表の内容から、読みやすい原稿の体裁、衣装、演台に載せるミニチュアの紙風船の絵柄や

大きさにいたるまで、アイデアを出しては検討する作業が続きました。「紙風船を初めて揚げた」平賀源内の話は難しいから削った方がいいべ。いや、歴史的人物が出てくれば格が上がるから登場させた方がいい」などと、細部まで突っ込んだやり取りがあつたといいます。

次は全国大会です。そのためさらに内容をリニューアルし、バージョンアップするとのこと。「んだって、全国大会で方言が多いば、審査員も意味わがねぐなるがら、全国大会用に原稿変えねね」。

全国大会は 11 月 25 日。「何でも、やってみること。失敗は成功のもとっていうから」と樂觀的な浅利さん。結果はどうであれ、浅利さんとお仲間の健闘は市民にとっても誇りです。がんばれ、浅利さん。



弁論大会北海道東北大会優勝
突っ込みあえる仲間だから
勝てました

気通元

みんなの笑顔でいっぱい

上松木内地区

「松木内川あそび」。角館漁業協同組合上松木内支部が地域の子どもたちの夏休みイベントとして企画。上松木内部落会の協力を得て開催され、今年で20年目を迎えました。

イワナ・ヤマメのつかみどりやカジカとりを楽しみながら、自然に触れることで川の環境について考えてもらいたい。角館漁業協同組合上松木内支部長の阿部高美さんは「ここは川の上流。ここが汚れてしまえば、下流も汚れてしまう。川を汚さないようにし、子供たちが大人になっても川あそびができる、きれいな川にしていきたいと思います」と呼びかけます。



平成20年からは、秋田内陸縦貫鉄道を守る会も参加し、廃線の危機にあった内陸線の乗車促進につなげようと、「川あそび」に参加するツアーが企画されています。

はじめは、地域の子供たちに楽しんでもらおうと行われた「松木内川あそび」。この「川あそび」が地域の連携を生み、地域の活性化につながっています。



お魚4匹捕まえたよ
いわなの塩焼きとってもおいしい！

気通元

きれいな駅で お客さんを迎えたい

上松木内地区

8月9日、秋田内陸線上松木内駅で、地域のみなさんが駅舎を花で飾り付けました。

これまでも駅愛護会で花の植栽や水やりなどをやってきましたが、駅舎をもっと花で飾りたいと、寄せ植えの講習会に参加し勉強してきました。

この日は、暑い中、6人が参加し、夏から秋の花に植え替えし、ホームの手前に設置したアーチやホーム、駅舎の空きスペースに、百日草、オリヅルラン、ペチュニアなどを寄せ植えした鉢を飾り付けていました。



参加した人たちは、「お盆に帰省する人たちや観光客をきれいな駅舎でお出迎えしたい」、「少しでも内陸線の乗車促進にお手伝いできたらと思います」と話していました。

駅のホームは太陽の照り返しが強く、水やりが大変ということでしたが、地域では、当番を決めて、大切に育てていくことにしています。

この日参加していただいた、赤上マツさん、松本秀子さん、若松真子さん、小西恵子さん、若松悦美さん、鈴木レイさん、お疲れ様でした。